

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	産科危機的出血治療目的の子宮動脈塞栓術の有用性の実際とその後の周産期予後への影響		
1. 研究の目的と方法	＜方法＞カルテの情報を収集し、評価・検討を行い、本学附属病院における産科出血に対する子宮動脈塞栓術を要した患者さんの背景・治療経過を確認します。 ＜目的＞子宮動脈塞栓術の止血有効性を評価します。そして、子宮動脈塞栓術による副作用・有害事象の実情及びその頻度を把握します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2030 年 6 月 30 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	産科危機的出血（分娩後に生命の危機に瀕するほどの大出血）の患者さんで、2020 年 1 月 1 日～2025 年 5 月 31 日の間に附属病院にて子宮動脈塞栓術の治療を受けた 18 歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	・母体情報：対象妊婦の年齢、経妊経産数、分娩時妊娠週数、既往歴、家族歴、内服薬、妊娠合併症、分娩方法、分娩経過、分娩時出血量、子宮動脈塞栓術の左右、塞栓物の種類、手術時間、塞栓術後の出血量、総輸血量、術後合併症、採血データ、培養検査データ、画像所見（MRI、CT、血管造影）、子宮動脈塞栓術の施行場所（血管造影室または手術室）、子宮動脈塞栓術後の子宮摘出術の有無（有の場合は適応症、手術日）、病理組織学的検査結果（胎盤、子宮摘出術を実施した場合は子宮・卵管）、エジンバラ産後うつ病質問票、入院期間、月経再開の有無、次回妊娠の有無とその経過 ・児情報：出生時体重、性別、アプガースコア、臍帯血 pH、先天性疾患の有無、合併症の有無、NICU 入院率	
	(4) 情報の取得の方法	カルテを用いて出産及びその後の出血に対して治療を行った際の上記の情報を振り返り収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学産婦人科学講座
		氏名	佐藤 泰輔
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の管理責任者	東京慈恵会医科大学産婦人科学講座 伊藤 由紀	
	(4) 共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2025 年 9 月頃～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学産婦人科学講座 研究責任者：助教 佐藤 泰輔（さとう たいすけ） 電話番号：03-3433-1111（内線 3521） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。